

地域密着型金融推進計画

「地域密着型金融推進計画」の取組み実績

本計画における平成21年4月から平成23年3月の取組み実績をお知らせいたします。

地域密着型金融推進における内容として(1)ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化(2)しんきんネットワークを活用した誘客活動および「地方の元気再生事業」の展開(3)事業価値を見極める融資手法や中小企業に適した資金供給手法の徹底についての取組みを行いました。

(1)ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- ・お取引先企業(および個人事業主)の経営者に自社の財務内容および経営課題を正しく認識していただくことを目的として、財務分析結果に基づく経営相談を行いました。
- ・より踏み込んだ経営改善支援の一環として、お取引先へ当金庫職員を派遣する取組みを行い、資金繰り・収益管理面での改善等の成果を上げることができました。
- ・地域経済が疲弊するなか経営の抜本的な改善が必要と考えられるお取引先に対して中期経営計画の策定支援を実施する等、経営改善に向けた取組みを積極的に行いました。
- ・創業・新事業支援融資についても積極的に対応しております。なお、期間中の実績は9先143百万円です。

(2)しんきんネットワークを活用した誘客活動および「地方の元気再生事業」の展開

- ・「地域経済活性化に対する取組み」として「はちしん誘客推進チーム」を設置し、地元のPRを兼ねた当金庫オリジナルの「郡上おどり日程表」を作成し、案内文やガイドブックなどとともに全国の信用金庫へ、東海・北陸地区など近隣の信用金庫へは冊子「長良川鉄道 レール&ウォーキング」ガイド集を別途加えて郵送、また、業界新聞に当地域への来訪案内広告を掲載しました。
- ・信用金庫の「年金友の会」会員、信用金庫の役職員旅行等の全国ベースでの誘客や当金庫役職員個々の誘客活動により、期間中3,802名(うち「年金友の会」および金庫役職員2,745名)が来訪され、地元消費に寄与しました。
- ・内閣府が創設した委託事業「地方の元気再生事業」について、平成20・21年度と郡上地域活性化協議会が国の委託を受け事業実施しました。事業終了後も里山再生事業ではひるがの高原トレッキングと組み合わせた体験農園やキジ料理を扱う料理店など、それぞれの取組みが継続して展開されています。

(3)事業価値を見極める融資手法や中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・当金庫では従来から事業の将来性やキャッシュフローを重視して中小企業者の皆様からの多種多様な資金ニーズに対応しており、新しい融資手法への取組みとしてご融資先が保有する売掛債権等を担保とする動産・債権等担保融資の提案・実行を行いました。
- ・融資手法の拡充に資するため、「目利き力」向上を目的として、営業担当者等を対象とした「経営改善講座」および「財務3表一体分析講座」を実施し融資スキルのアップを図りました。

地域密着型金融推進計画 実施結果報告 (平成21年4月1日～平成23年3月31日)

項目	目標	実績	項目	目標	実績
財務分析結果に基づく経営相談件数	50件	107件	担保および保証への過度に依存しない融資提案件数	5件	6件
財務分析結果に基づく提案セールス件数	30件	37件	ビジネスマッチング情報提供件数	10件	14件
資金繰り等各システムを用いた経営管理支援先数	15先	16先	郡上地域活性化協議会への参加回数	12回	12回
創業・新事業先支援先数	5先	9先	郡上ビジネススクラブの開催回数	24回	25回
経営改善支援先数(追加先数)	3先	7先	ビジネスフェア出展企業数	8社	18社
モニタリング実施先数(追加先数)	3先	7先			

経営改善支援等の取組み実績（平成22年4月～平成23年3月）（単位：先数）

	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	478	26		22	0	5.4%		0.0%
要注意先 うちその他要注意先 ②	130	30	2	25	18	23.1%	6.7%	60.0%
要注意先 うち要管理先 ③	3	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻懸念先 ④	10	1	0	1	0	10.0%	0.0%	0.0%
実質破綻先 ⑤	13	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計(②～⑥の計)	168	31	2	26	18	18.5%	6.5%	58.1%
合計	646	57	2	48	18	8.8%	3.5%	31.6%

- (注)・期初債務者数及び債務者区分は平成22年4月当初時点で整理しております。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含んでおりません。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含んでおります。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでおりません。
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
 ・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

「地域密着型金融推進計画」の策定（平成23年4月1日～平成25年3月31日）

(1) 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

取引先企業との関係強化により経営の目標や課題を把握・分析し、ライフステージ（創業・新事業開拓を目指す取引先企業、成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業、経営改善が必要な取引先企業、事業再生や業種転換が必要な取引先企業、事業の持続可能性が見込まれない取引先企業、事業承継が必要な取引先企業等）を見極めた上で、取引先企業の自主的な取組みを促すとともに、経営目標の実現や経営課題の解決を図るための適切な方策を提案し、取引先企業と協働してこれらを実行します。

また、取引先企業の事業価値を見極め、本質的な経営課題を把握・分析し、適切な課題解決の方策を提案・実行するために、必要に応じ外部専門家や外部機関等と連携できる態勢を整備するとともに、人材の育成やノウハウの蓄積に努めます。

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

しんきんネットワークをフルに活用した誘客活動を積極的に展開することにより、地域の強みである観光産業への経済効果および金融面でのサポートを行っていきます。また、当金庫が地域の主要団体、行政に連携を呼びかけ発足した「郡上地域活性化協議会」の活動を通じて、地域の面的再生に継続的に取り組めます。

(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫は基本理念に「地域に役立つ信用金庫」を標榜しており、地域とともに存続発展していくことを命題としている金融機関であることを広く地域や利用者へ情報発信します。これにより地域密着型金融の取組みに対する利用者の理解を深めるとともに、地域一体となった活性化を実現します。

※詳細につきましては、当金庫ホームページをご覧ください。